

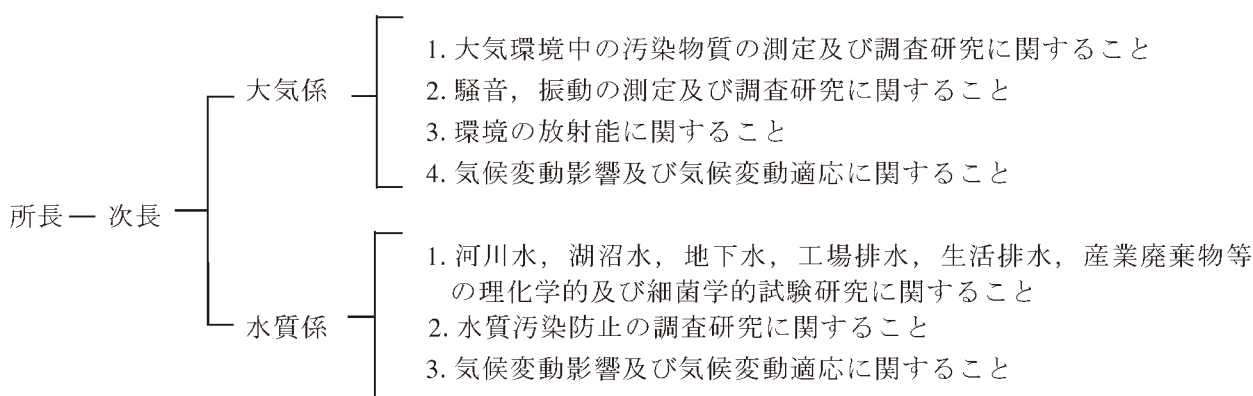
第1章 総説

1. 沿革

昭和23年 6月25日	奈良県告示第167号を以て、奈良市登大路町奈良県庁内に奈良県衛生研究所を設置
昭和28年 3月31日	奈良県条例第11号を以て、奈良市油阪町に庁舎を新築移転
昭和41年 3月30日	奈良市西木辻八軒町に奈良保健所との合同庁舎を新築移転
昭和46年 3月24日	奈良市大森町に独立庁舎を新築移転
昭和46年 5月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、総務課、環境公害課、予防衛生課の3課を設置
昭和48年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、食品化学課を新設
昭和50年 2月28日	前庁舎に接して約 1,276 m ² の庁舎を新築
昭和62年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、総務課、公害課、環境課、食品化学課、予防衛生課の5課制に編成替え
平成 2年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、総務課、大気課、水質課、食品生活課、予防衛生課に編成替え
平成12年 4月 1日	奈良県感染症情報センターを所内に設置
平成14年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、奈良県保健環境研究センターと名称変更し総務課と試験研究グループ（大気環境担当、水環境担当、食品担当、ウイルス・細菌担当）に編成替え
平成18年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、総務課、精度管理担当、大気環境担当、水環境担当、食品担当、ウイルス・細菌担当に編成替え
平成22年 4月 1日	技術担当を置く
平成23年 4月 1日	技術担当を解く
平成25年 4月 1日	奈良県行政組織規則の改正により、大気環境担当及び水環境担当は奈良県景観・環境総合センターの試験研究部門として大気係、水質係に編成替え。奈良県保健環境研究センターは奈良県保健研究センターと名称変更し、総務課、精度管理担当、食品担当、細菌担当、ウイルス・疫学情報担当に編成替え。試験研究施設は桜井市栗殿に新築移転。
令和 7年 1月 6日	奈良県気候変動適応センター設置

2. 組織(試験研究部門のみ)

(1) 機構と事務分掌 (令和7年4月1日現在)



(2) 職員構成

(令和7年4月1日現在)

区分	事務職員	技術職員		計
		獣医学	理工農学	
所長			1	1
次長	1			1
大気係			6	6
水質係			6	6
計	1		13	14

(3) 職員名簿

(令和7年4月1日現在)

係名	職名	氏名	係名	職名	氏名
	所長	城山二郎			
	次長	岡部泰也			
大気係	統括主任研究員	吉田孝子	水質係	統括主任研究員	井上ゆみ子
	副主任	山本徹		主任研究員	岡本雄二
	総括研究員	村上友規		主任研究員	角百夏
	主任研究員	下田明史		主任研究員(フル再)	山下浩一
	主任研究員	吉田実希		主任主事	平山可奈子
	主任研究員	久保友佳子		主任主事	長岡孝浩

3. 施 設（試験研究施設のみ）

(1) 土 地

（令和7年4月1日現在）

地 名	地 目	面 積	現在の状況	所 有 者
桜井市栗殿 1000 番地	宅 地	8,741.86 m ²	宅 地	奈 良 県

(2) 建 物

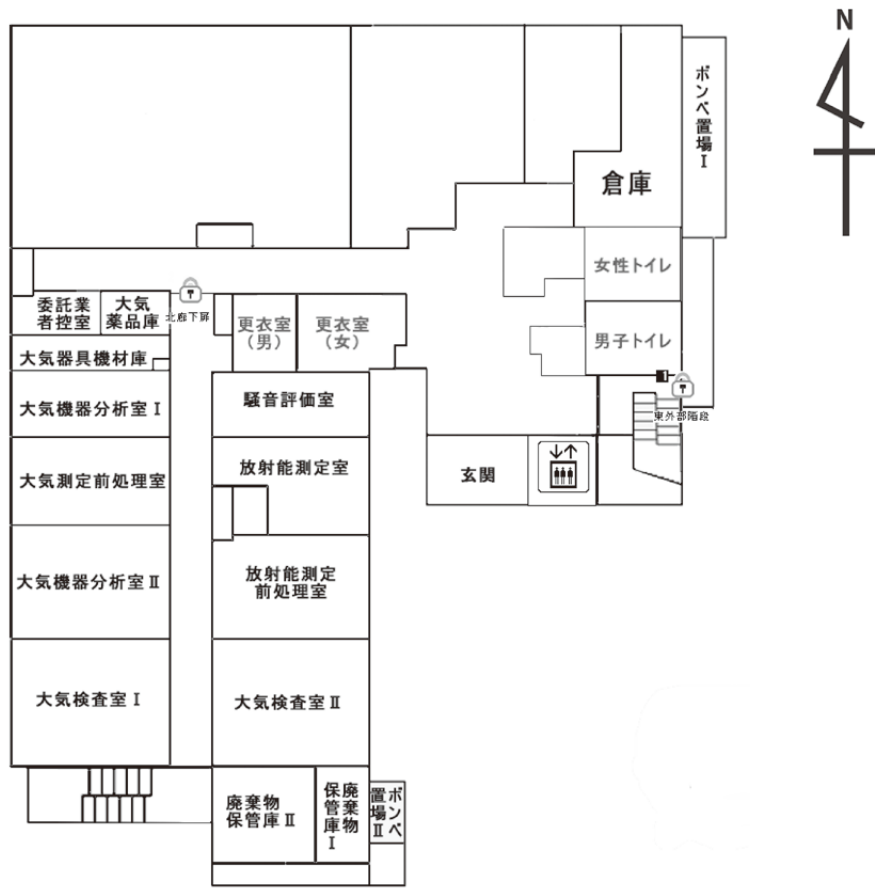
（令和7年4月1日現在）

施 設	面 積	使用開始年月日	建物経過年数	所 有 者
本館鉄筋コンクリート 4 階	3,264.17 m ²	平成 25 年 4 月 1 日	12 年	奈 良 県
（ 本 館 1 階 ）	(860.13)			
（ 本 館 2 階 ）	(786.77)			
（ 本 館 3 階 ）	(786.77)			
（ 本 館 4 階 ）	(786.77)			
（ 本 館 P1 階 ）	(43.73)			
倉 庫	7.00 m ²	平成 25 年 4 月 1 日	12 年	

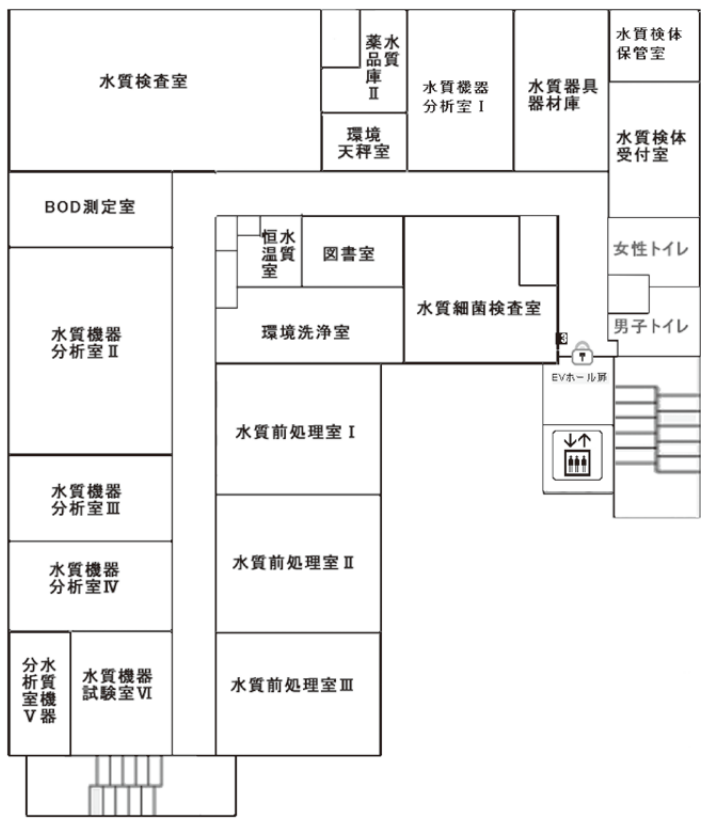
※大気係は1階西棟，水質係は2階全棟にて試験研究を実施．

(3) 奈良県景観・環境総合センター試験研究施設 配置図

(1階)



(2階)



4. 新規購入備品（単価 20 万円以上）

品 名	規 格	購入年月日
マイクロウェーブ試料分解装置	(株)アナリティクイエナジャパン製 speedwaveXPERT	R7.1.10
電子天秤	(株)島津製作所製 UP8201X	R7.2.14
ミニポンプ用基準流量計	柴田科学(株)製 FC-M1	R7.2.21
イオンクロマトグラフ	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)製 INUVION RFC、VWD-IC、PCM-530 AS-AP TEMP、ICW-3000	R7.3.14

5. 予算及び決算（令和 6 年度）

検査手数料（証紙収納額）

（単位 円）

種 別	内 訳	予 算 額	証紙収納額
景観・環境総合センター手数料	大気試験	119,000	0
	水質試験	2,624,000	2,756,760
合 計		2,743,000	2,756,760

歳 出

（単位 円）

款・項・目	予 算 額	支 出 額	残 額
(款) 福祉保健費	190,000	188,948	1,052
(項) 地域福祉費	190,000	188,948	1,052
(目) 保健研究センター費	190,000	188,948	1,052
(款) 環境森林費	30,862,220	29,096,772	1,765,448
(項) 水資源・環境政策費	30,862,220	29,096,772	1,765,448
(目) 水・大気環境費	24,319,220	23,043,576	1,275,644
(目) 廃棄物対策費	6,543,000	6,053,196	489,804
合 計	31,052,220	29,285,720	1,766,500

*景観・環境総合センターへの令達額。人件費を含まず。

6. 企画情報関連

(1) 職員の出席した学会、研究会、講習会、研修会等

i) 大気係

年・月・日	内 容	開 催 地
R 6. 5.14	金沢大学環日本海域環境研究センターの研究紹介 2	Web 開催
5.21～24	環境放射能分析研修	千葉市
6. 3	大気環境学会講演会「植物起源揮発性有機化合物（BVOC）の大気への放出とその後」	Web 開催
6.26	統一精度管理調査結果説明会＜令和 5 年度調査結果＞	Web 開催
7.23	大気環境総合センター令和 6 年度セミナー『ERCA の研究成果発表』	Web 開催
9. 5	II 型共同研究「光化学オキシダント等の変動要因解析を通じた地域大気汚染対策提言の試み」VOC・PM2.5 観測グループ 第 4 回会合	Web 開催
9.11～13	第 65 回大気環境学会	横浜市
10.25	日本環境化学会 大気環境部会「大気中有害物質の最新研究：揮発性有機化合物、PFAS、マイクロプラスチックの分析と挙動 ～環境研究総合推進費が解き明かす未来への挑戦～」	Web 開催
11.14～15	第 51 回全国環境研公害防止研究会	奈良県
11.19	II 型共同研究「光化学オキシダント等の変動要因解析を通じた地域大気汚染対策提言の試み」VOC・PM2.5 観測グループ 第 5 回会合	Web 開催
12.10	II 型共同研究「光化学オキシダント等の変動要因解析を通じた地域大気汚染対策提言の試み」VOC・PM2.5 観測グループ 第 6 回会合	Web 開催
12.16～17	第 39 回全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部研究会	金沢市
12.23	令和 6 年度道路交通振動・騒音担当者説明会	Web 開催
12.26	大気環境学会中部支部講演会	Web 開催
R 7. 1.10	令和 6 年度道路交通振動・騒音担当者説明会	Web 開催
1.17	令和 6 年度第 2 回近畿大気汚染常時監視連絡会	大津市
1.27～28	令和 6 年度化学物質環境実態調査環境科学セミナー	東京都
1.29～30	JASIS 関西 2025	大阪市
1.31	令和 6 年度新潟県保健環境科学研究所 調査研究発表会	Web 開催
1.20～2.7	令和 6 年度大気分析研修	Web 開催
2.19～20	第 40 回全国環境研究所交流シンポジウム	つくば市
3.10～11	II 型共同研究全体会合	東京都

ii) 水質係

年・月・日	内 容	開 催 地
R 6. 6.26	統一精度管理調査結果説明会<令和5年度調査結果>	Web 開催
7.26~29	令和6年度 VOCs 分析研修 (水質)	所沢市
8.28	第48回瀬戸内海水環境研会議及び第31回2024年度 瀬戸内海研究フォーラム in 大阪	高槻市
9.30	統一精度管理調査 東海・近畿・北陸ブロック会議	Web 開催
10.30	II型共同研究「災害時における化学物質の網羅的簡易迅速測定法を活用した緊急調査プロトコルの開発」及び「公共用水域における有機-無機化学物質まで拡張した生態リスク評価に向けた研究」全体会合	つくば市
10.31	環境研究総合推進費【IMF-2301】「法学及び工学的アプローチの連携による災害・事故時における化学物質と環境リスク管理制度並びに情報基盤に関する研究」机上演習会合	つくば市
11.14	第51回環境保全・公害防止研究発表会	橿原市
12. 9~13	令和6年度水質分析研修 (ICP-MS コース)	所沢市
12.10	日本環境化学会「劔持堅志先生と奥村為男先生を偲ぶ追悼講演会」	大阪市
12.16	令和6年度生物学的調査推進のための研修会	Web 開催
12.16~17	第39回全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部研究会	金沢市
12.18	II型共同研究「多様な水環境の管理に対応した生物応答の活用に関する研究」及び「公共用水域における有機-無機化学物質まで拡張した生態リスク評価に向けた研究」の2課題合同開催ワークショップ	福井市
12.19	II型共同研究「公共用水域における有機-無機化学物質まで拡張した生態リスク評価に向けた研究」及び「多様な水環境の管理に対応した生物応答の活用に関する研究」全体会合	福井市
R 7. 1.27~28	令和6年度化学物質環境実態調査環境科学セミナー	東京都
1.30~31	JASIS 関西 2025	大阪市
2.18	第70回日本水環境学会セミナー「今、ネイチャーポジティブを考える」	Web 開催
2.19~20	第40回全国環境研究所交流シンポジウム	Web 開催
2.21	II型共同研究「災害時における化学物質の網羅的簡易迅速測定法を活用した緊急調査プロトコルの開発」2024年ラウンドロビンテスト報告会	Web 開催
2.28	令和6年度全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部 有害化学物質部会	堺市
3.12	研究セキュリティシンポジウム～研究の自由、透明性、開放性とセキュリティの両立のために～	Web 開催
3.17~19	第59回日本水環境学会年会	札幌市
3.26	国立環境研究所 気候危機対応研究イニシアティブ「二酸化炭素除去技術 CDR の課題と可能性～「1.5℃目標」達成に向けて」	Web 開催

(2) 当センター職員を講師とする講演会、技術・研修指導

年・月・日	内 容	対 象 者	担 当
R6.10.1 ~ 4	令和6年度奈良県立医科大学 公衆衛生学実習	奈良県立医科大学 医学部4年生 4名	大気係

(3) 国立環境研究所・地方環境研究所との共同研究

地方公共団体環境研究機関等と国立環境研究所とのⅡ型共同研究

「公共用水域における有機-無機化学物質まで拡張した生態リスク評価に向けた研究」

水質係 辻本真弓

「災害時等における化学物質の網羅的簡易迅速測定法を活用した緊急調査プロトコルの開発」

水質係 北岡洋平 平山可奈子

「多様な水環境の管理に対応した生物応答の活用に関する研究」

水質係 平井佐紀子

「光化学オキシダント等の変動要因解析を通じた地域大気汚染対策提言の試み」

大気係 村上友規 久保友佳子

(4) 景観・環境総合センター研究発表会 ※詳細は本誌第3章第4節(2)参照

i) 令和6年6月28日

「県内大気中におけるホルムアルデヒド及びアセトアルデヒド濃度の経年変化」

大気係 久保友佳子

「大和川流域におけるマイクロプラスチックの環境実態調査」

水質係 平山可奈子

ii) 令和7年2月28日

「レセプターモデルを用いた大阪府及び奈良県におけるPM_{2.5}発生源の経年解析」

大気係 村上友規

「WET手法による岡崎川の生物影響評価について」

水質係 平井佐紀子

(5) 外部評価制度

i) 外部評価制度の導入

調査研究業務に客観的かつ公正な評価を加え、調査研究の充実とその成果の普及を図ることを目的に、平成19年度から保健環境研究センターとして外部評価制度を導入している。

平成25年度からは、保健環境研究センター大気環境担当・水環境担当が、景観・環境総合センター大気係・水質係へと組織変更され、保健環境研究センターは保健研究センターと名称変更されたが、外部評価制度は両者合同で行っている。

外部評価委員

(令和6年4月1日現在)

	氏名	所属
委員長	多賀 淳	近畿大学
委員	須崎 康恵	奈良県立医科大学
委員	山田 誠	龍谷大学
委員	川崎 清史	同志社女子大学
委員	片野 泉	奈良女子大学

ii) 令和6年度評価対象となった調査研究(当センター分のみ抜粋)

担当	主任研究者	課題名	共同研究者
大気係	村上 友規	高時間分解条件による SOA 及び VOC の同時観測	久保 友佳子
水質係	北岡 洋平	大和川水系岡崎川の水質改善に関する検討	辻本 真弓 岡本 雄二 平山 可奈子 平井 佐紀子

iii) 外部委員による総合評価

令和6年度の調査研究について、全体を通じ次のように評価された。

- ・コロナの時期にはできないこともあったが、活発な研究が完全に復活していた
- ・基礎研究の基礎データをしっかり出していくことが県民の納得につながると思う
- ・緻密な分析と緻密な作業、フィードバックもして、いいデータを持っていると思う
- ・研究発表を論文の形で発表することがいいと思う

iv) 外部委員による個別評価

外部委員による評価は、①目的・目標の達成度、②県民・社会的ニーズへの波及効果、③行政施策への貢献度、活用性、④成果の学術的意義、⑤今後の発展性の観点から行われる。

それぞれについて、5段階評価で行い各委員の平均で表した。

